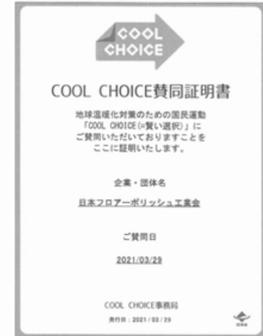




## 日本フローアポリッシュ工業会は「COOL CHOICE」に賛同登録しました

「COOL CHOICE」とは、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出量削減のために、「製品への買い換え」「サービスの利用」「ライフスタイルの選択」など地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をしようという取り組みです。

会員企業の皆さまには、ぜひ「COOL CHOICE」にご賛同いただき、「賢い選択」につながる取り組みへのご協力をお願いいたします。



### 地球温暖化の現状——

#### ◆◇上昇を続ける世界の平均気温

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の報告書によると、世界の平均地上気温は1880年から2012年の期間に0.85℃上昇しました。

気象庁のデータによると、世界の年間平均気温は、1891年の統計開始以降0.95℃上昇しており、特に2015年以降の気温の上昇は顕著です。

20世紀末頃（1986年～2005年）と比べて、有効な温暖化対策をとらなかった場合、21世紀末（2081年～2100年）の世界の平均気温は、2.6～4.8℃上昇し、厳しい温暖化対策をとった場合でも0.3～1.7℃上昇する可能性が高いとされています。

さらに、平均海面水位は最大82cm上昇する可能性が高いと予測されています。

#### ◆◇増加し続けるCO<sub>2</sub>濃度

産業革命が始まった1750年以来、人間は石油や石炭などの化石燃料を燃やしてエネルギーを取り出し、経済を成長させてきました。その結果、大気中の二酸化炭素濃度は急激に増え、産業革命前に280ppm程度だった二酸化炭素濃度は、現在400ppmを超え、産業革命前に比べて40%以上も増加しました。最近では、年間2ppmを越えるスピードで増加しています。

### パリ協定で——

#### ◆◇温室効果ガスの排出をゼロに

2020年以降の気候変動対策の国際的枠組みである

「パリ協定」では、世界共通の目標として世界の平均気温上昇を2℃より十分下方に抑える（さらに1.5℃に抑える努力をする）こと、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロ\*にすることが打ち出されています。平均気温上昇を1.5度に抑えるためには、2050年前後のCO<sub>2</sub>排出量を正味ゼロとすることが必要とされています。

#### ◆◇日本は

日本は2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル（CN）、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。

#### ◆◇SDGs

気候変動対策は、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）17目標の13番目に掲げられており、すべての目標と深くかかわるSDGsの中核テーマです。

SDGsの活用によって、企業にとってさまざまな可能性が広がります。企業の事業活動のみならず、節電、節水、社員の福利厚生など企業の行動すべてがSDGsにつながります。

### COOL CHOICEの実践——

COOL CHOICEに賛同している企業や団体は、脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギーへの切り替

え、エコカーへの買い換え、エコドライブの実施、ビルのZEB\*\*化、住宅のZEH\*\*\*化、クールビズ、ウォームビズの実施、高効率照明への切り替え、照度調整、エコバッグ・マイボトルの使用、Web会議・テレワークなどのような取り組みを行っています。

(1) 製品の買換え

◆◇省エネ製品

高効率な照明へ切り替える。白熱電球からLED照明や有機EL照明へ買替え。エアコン、冷蔵庫、高効率給湯器、温水機器、節水型トイレ、エアコン、冷蔵庫、テレビ、照明器具、の購入に当たっては、省エネラベルにより省エネ性能の高い製品を選択する。



◆◇エコカー

ハイブリッド車、電気自動車などのエコカーに税の優遇制度がある。



◆◇エコ住宅

高断熱、断熱リフォーム、断熱性能の高い製品を選別する。



「住まい」からのCO2排出の割合は暖房が約2割、給湯が約2割、照明・家電製品が約5割を占め、「住まい」におけるCO2排出量の1/4は冷暖房です。

◆◇ビルのZEB化、住宅のZEH化

省エネ性能の高い住宅・ビル等の新築や断熱改修等の省エネ改修に努める。省エネと再エネを組み合わせることで一次エネルギーの収支をゼロにする。



(2) サービスの利用

◆◇スマートムーブ

状況に応じた最適な移動方法を選択する。公共交通機関が発達している地域では、電車、バスなどの公共交通機関や徒歩、そうでない地域で



は自動車の利用方法を工夫する。エコドライブ、カーシェアリング、コミュニティサイクルなど。

◆◇宅配便再配達防止

IoT宅配ボックス、職場受け取り、お届け通知サービス。



※配達される荷物の約2割は、再配達によるものです。

◆◇再生可能エネルギーへの切り替え

契約電力会社のプランを再生可能エネルギーに切り替える(太陽光・水力・風力・地熱・バイオマスなど)。



(3) ライフスタイルの選択

◆◇クールビズ

クールビズでは、「適正な室温」の目安を28℃とする。



◆◇クールシェア

「クールビズ」から、さらに一歩踏み込み、エアコンの使い方を見直し、涼を分かち合う。家族や地域で楽しみながら節電する。



◆◇ウォームビズ

過度な暖房に頼らず室温20℃を目安に、さまざまな工夫をして冬を快適に過ごす。



◆◇ウォームシェア

ひとつの部屋・場所に集まって過ごして、エネルギー消費を節約する。



◆◇エコドライブ

急がない、乱暴にならない、ゆっくり加速、ゆっくりブレーキ、車間距離にゆとりを持つ。



\* 温室効果ガスの排出事態の抑制だけでなく、排出された二酸化炭素を回収するなどして差し引きで実質ゼロとする考え方

\*\* ZEB: Net Zero Energy Building

\*\*\* ZEH: Net Zero Energy House